

ダムって何だ？

その高さ15m以上

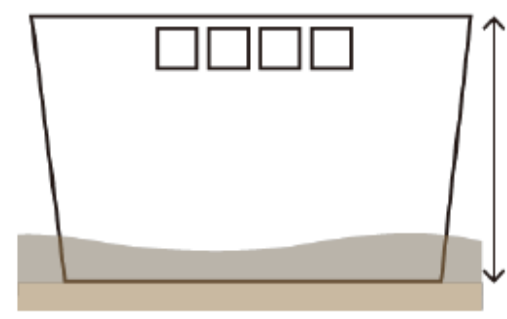
ダムとは、一般的に、流れる水をせき止めてを貯めることを目的としてつくられる構造物で、水をせき止める高さが15m以上あるものを「ダム」と呼んでいます。

それより低いものは、「堰（せき）」や「ため池」などと呼んで区別しています。

〈国土交通省 HP ダムコレクションより〉



萱瀬ダム（所在地：大村市）



ダムの高さは、地面の下に埋まっている本体（堤体）の底の部分から一番上（堤頂）までをさします。

〈国土交通省 HP ダムコレクションより〉

いろいろな形があるダム

ダムの種類は大きく分けると、本体を①コンクリートでつくる「コンクリートダム」と、②岩石や土を積み上げてつくる「フィルダム」があります。

また、それを組み合わせた複合ダム（コンバインダム）もあります。ダムに求められる役割や大きさ、つくる場所の地形や地盤の強さなどによって、下のイラストのように、さらにいくつかの型式に分かれています。

〈国土交通省 HP ダムコレクションより〉



①コンクリートダム



②フィルダム



目保呂ダム（重力式コンクリートダム）（所在地：対馬市）



宮崎ダム（アースダム）（所在地：長崎市）